

緊急事態宣言の再発令で先が見通せない中、経営者がまずやるべきことは？

債務残高はGDP比 260%超、わが国の財政は相当厳しい

2021年1月8日に東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県を対象に2度目の緊急事態宣言が発令され、1月14日には栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県へと対象が広がりました。

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず医療崩壊が迫る中、首都圏や関西圏などに続いて発令の要請を検討する自治体が増えています。

多くの国民が感じているとおり、政府の対応は後れを取ったと思うのですが、緊急事態宣言を発令すると、広範囲の休業補償などもセットで実施しなければならず、即決できない事情があったのだと察知しています。もちろん、緊急事態宣言を出せば、経済が落ち込むということ紛れもない事実ですし、政治的な忖度もあったことは否定できません。

なにしろわが国の財政は厳しく、債務残高は名目GDP比 260%超に達しています。これはコロナ禍前の数字ですからその比率は、今はもっと高いのです。2位のイタリアの160%と比較しても突出しています。財政の限界をにらみつつ、経済活動を続けていくという難しいかじ取りを迫られていることも間違いありません。

政府の事情はさておき、誰もが先が見通せない状況下で経営者がまずやるべきことは、コロナ禍における「最善シナリオ」と「最悪シナリオ」の2つを想定することです。

「最善シナリオ」「最悪シナリオ」を想定する

「最善シナリオ」は、緊急事態宣言の効果がある程度出て、新規感染者数が抑え込まれるとするケースです。医療崩壊ギリギリのラインで持ちこたえ、さらに順調であれば、2月下旬から医療従事者、3月から高齢者などを対象にワクチン接種が始まる。その頃には少しずつ気候も穏やかになるので換気がしやすくなり、それらの相乗効果でさらに感染者数や重症者の数が抑え込まれる一。

ただ、それでも秋ごろまでは予断を許さない状況が続くそうです。インバウンド需要はほぼ消滅した状態が続く、観光業界は国内の消費に頼るしかなさそうです。

「最悪シナリオ」は、感染拡大を抑え込むことができないケース。今回は1度目の緊急事態宣言時と比べて圧倒的に感染者が多く、海外からの変異種も確認されており、また、国民生活や経済活動に対する制限が小さいことから、全国の感染者数が毎日1万人、2万人という数字に達してしまう。ワクチンの効果が認められず、副作用の問題も起こる。医療崩壊が起こり、経済は相当悪化する一。

コロナ禍は未来の姿 生き残りへ全力を傾けるべき

先が見通せないからとただ傍観するのではなく、経営者はまずは「最善シナリオ」と「最悪シナリオ」を想定してみる。どのあたりに落ち着くのかはだれにも分かりません。しかし、私は「最善ではないが、最悪でもない状況に落ち着く」のではないかという気がしています。しかし、最悪が絶対ないとも言えません。

さらに、私はこのコロナ禍で「未来が早くやってきた」と思っています。テレワークなどもそうですし、電車が一時期空いていたのも人口減少がさらに進むこの国の将来の姿です。皆さんの会社にとっても「未来が早くやってきた」ことがあるのではないのでしょうか。

では、これらを想定した後に経営者は何をすべきか。評論だけしていても仕方がないので、「どうやって生き残るか」へ全力を傾けるべきです。

KFC（ケンタッキーフライドチキン）の創業者、カーネル・サンダースは、「できることはすべてやれ。やるなら最善を尽くせ」と言っています。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

今はまさにその時期で、業績が苦しい会社ほど、「できることはすべてやれ」です。時短営業を迫られている飲食店が、テイクアウトなどで売り上げの減少を補うのはもはや当たり前ですが、経営者は同業他社のやりかたをよく観察し、良いアイデアは即座に取り入れるくらいの柔軟性と素直さ、そして謙虚さが求められます。

「できることはすべてやれ」が当てはまるのは、戦略やマーケティング面だけではありません。

税理士や社労士と相談して、国や自治体が用意している雇用調整助成金のようなさまざまな補助金の支給を受けたり、融資制度を利用したりして、キャッシュフローを潤沢にする一方、出血を最小限に抑えて嵐が過ぎ去るまで生き残る算段をすることが大事です。資金はこういう状態が続いたとして1年くらいは耐えられる程度の額を用意することが望ましいです。銀行もコロナ禍対応のための融資を増やしているところが多いです。

小宮コンサルタンツ代表 小宮 一慶 DIAMOND online 小宮 一慶の週末経営塾より

2020年大晦日に放送されたザワつく！「全国ご当地ポテトチップスNo.1 決定戦 大晦日グランドチャンピオン大会」見ましたか？今回、見事に福島県のご当地ポテトチップス「ももポテトチップ」がグランプリになりました。

以前の放送の際は、高嶋ちさ子さんが絶賛していましたが惜しくも2位だったと記憶しています。しかし、そのテレビ放映されてから、近所の道の駅でいつもは山積みになっていた「ももポテトチップ」の売り場から商品が無くなり「次回入荷は未定です」の張り紙が…。普段は見向きもしなかったのですが、1口食べてみたいと思ってしまいました。程なくして入荷され食べてみました。桃の香のする塩味のポテトチップで、美味しく頂きました。私たちの会社がある福島県伊達市は桃の産地です。そしてこの「ももポテトチップ」も伊達市で作られていました。（有限会社特産食品販売：福島県伊達市霊山町）福島県産の桃をパウダー加工し、県内で活躍する農業女子メンバーによって作られたようです。グランプリに選ばれたことは素晴らしいことです。他にもこの地区は果物の産地で「あんぼ柿」が有名です。干し柿は干しただけのドライフルーツで、時間の経過とともに乾燥して黒く固くなっていきますが、あんぼ柿は硫黄で燻して乾燥させるため、羊羹のように柔らかくジューシーな食感で甘さのある美味しさが特徴です。また紅葉漬も有名です。こちらは、新鮮な鮭を良質の糶で漬け込んだとろけるような逸品です。そのままお酒のお供や温かいご飯にのせていただきます。当社の近くに工場があります。

あまり大きな町ではありませんが、美味しいものが沢山揃っています。コロナの影響でなかなか旅行等にいけない状況ですが、この機会に一度地元を見直しても良いかもしれませんね。皆さんの町にもきっと美味しいグルメや楽しいスポットがあるはずです！

2月の行事 節分 ～なぜ節分には鬼に豆をまいていわしや巻き寿司を食べるの？～

豆をまかれるのはなぜ鬼なのでしょう？鬼とは邪気のこと、鬼の仕業が災害・病・飢饉など恐ろしい出来事を起こすと考えられてきました。その鬼が住んでいるのは風水などでよく聞く「鬼門」の方角である北東で、十二支では丑寅の方角にあたります。そのことから、鬼は牛の角をはやし寅の皮のふんどし姿なのだそうです。

豆まきに使う大豆には、霊的な力が宿ると信じられていた事と、鬼の目に豆を投げて魔を滅する＝魔滅になったとも言われています。また豆から芽が出るのは縁起が悪いとされることから、必ず炒った豆使います。豆まきが終わったら一年の無病息災を願い、自分の数え年の数だけまかれた豆を食べます。

巻き寿司は「恵方巻き」と言われ、関西では幸福の訪れを願い、その年の恵方を向いて丸かぶりします。具は七福神にならって7種類、縁（えん）をきらないように包丁できらず、福を逃さないように無言で全部食べます。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します